



議会だより

みんなで稲刈りがんばるぞー!!

(10月4日 - たんぽぽ子どもの家)



9月の定例会

- このような事業が行われました… 2P
- 定例会で決まったこと…………… 6P
- 9人が町の課題を問う…………… 8P

富士川町議会

検索

山梨県富士川町議会



れました

期で開催し、各会計の決算を認定した。

を認定

一般会計歳出総額

91億6573万円

(前年度より 18%減)

新型コロナウイルス感染症緊急対策 (定額給付金事業等)の大幅減額

◆ 増穂小校舎 外壁塗装改修工事 (第2期工事)

5385万円

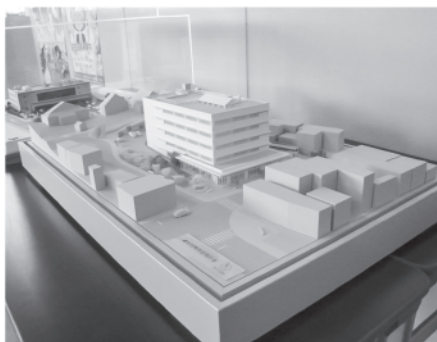
- 2号館および特別教室棟の外壁塗装の改修工事を行った。



◆ 町立図書館整備事業

1億5167万円

- 国が建築する地方合同庁舎に合築する町立図書館整備に係る町負担金。



◆ 中巨摩地区広域事務組合負担金

9941万円

- ごみ処理等に係る町負担金。



◆ 峡南広域行政組合費 負担金(消防費)

2億6691万円

- 常備消防としての町負担金。



◆ 富士川いきいき スポーツ公園整備事業

1億291万円

- 競技場、駐車場の夜間照明を設置した。また、公園内にトイレを設置した。



このような事業が行わ

令和4年第3回定例会を9月9日から27日までの19日間の会

令和3年度 決算



財政を見る

3つのポイント

1

財政力指数 **0.349**

昨年度から **0.12 減**

予算のうち、どれくらい自前の
の税収で賄えているかを表し
ます。この指数が高いほど、
財政力が強いことを示してい
ます。

2

実質公債費比率 **12.0%**

昨年度から **0.3% 減**

一般会計が負担する借金返
済費用の割合。数値が高いほ
どほかの事業にあてる財源を
圧迫することになります。

3

将来負担比率 **48.4%**

昨年度から **6.9% 減**

借入金など将来支払わなけ
ればならない負債が、1年間の
収入に対してどれくらいあ
るのか判断する基準。この割
合が350%を超えないよう
にする必要があります。

◆道の駅富士川農産物加工所 増築他改修工事



3億4214万円

- 道の駅富士川農産物加工所とバウムクーヘン店舗を建設した。

◆十谷大型バス駐車場整備工事

8491万円

- 大柳川渓谷に訪れる大型バスの駐車場を整備した。



◆農林業体験宿泊交流施設整備事業



7755万円

- 増穂西小跡地に農林業体験宿泊交流施設を整備した。

◆新型コロナウイルスワクチン接種事業

1億8751万円

- 令和3年4月から、ワクチン接種事業を本格的に実施した。



決算特別委員会レポート

今定例会で特別委員会を設置し、9月9日の本会議で当委員会に付託された議案を、9月14日、15日に分科会、21日に全体会を開き、慎重に審議した。

ひびくり分科会

【生涯学習課】

問 社会教育施設長寿命化策定業務委託583万円の内容は。

答 町民会館、教育文化会館、文化ホール、町管理の地区公民館施設など15箇所の社会教育施設の長寿命化計画策定である。

問 学力向上支援スタッフ報酬389万円の内容は。

答 新型コロナウイルス感染症への学校支援策の一環として、増穂小2名、鵜沢小2名、増穂中1名、鵜沢中1名を配置し、1日4時間を基本に児童生徒に指導を行っており、県の補助金を財源に充当している。

問 中学校交流授業用スピーカー購入の内容は。

答 増穂中、鵜沢中両校の交流を深めるオンライン授業を推進するため、両校に購入したものである。

【政策秘書課】

問 RPA使用料、AI-OCR使用料110万円の内容は。

答 事務処理や統計処理を迅速かつ正確に行うことができるシステムの使用料であり、両システムを併用することにより、事務効率を上げている。

問 災害対応用ホームページ軽量化業務委託に期待される効果は。

答 緊急時にアクセスが集

【子育て支援課】

問 子ども医療費助成費が増額している要因は。

答 新型コロナウイルス感染症の影響で通院を控える傾向にあったが、令和3年度は、通常に戻りつつあることが原因として考えられる。

【福祉保健課】

問 生活困窮者自立支援相談支援事業の実績は。

答 53件の相談があり、相談内容により15件については、フードバンクにつなげて支援した。

問 病院群輪番制病院運営事業委託料983万円の内容は。

答 休日夜間における入院

中しても、必要な情報が得られることが可能である。

治療を必要とする重症緊急患者への対応を峡南地域の病院に委託するものである。

【町民生活課】

問 有価物引取りによる収入が459万円と増加した要因は。

答 古紙類等の引取り価格が少しずつ上がってきたこと、また、新たに廃食油の買取りが始まったことが要因である。

問 マイナンバーカードの取得状況は。

答 令和3年度は1765名が取得している。専用端末を設置し、役場庁舎内で認証写真を撮影できるようにするなど、利便性を高め取得率向上に努めている。

まちづくり分科会

【産業振興課】

問 プレミアム商品券の未使用があつたがPRが必要では。

答 広報誌や町のLINEで周知してきたが、未使用があつた。今後は、あらゆる手段を講じて期限内に使用してもらう。

問 農業次世代人材投資資金交付事業費補助金の適用条件は。

答 年齢50歳以下で、就農実績に応じて補助金が交付される。

【土木整備課】

問 町道大法師線交差点交差解析業務の内容は。

答 道路改良に伴う県道と

の交差点協議に交通量や交差解析データが必要なため委託した。

【上下水道課】

問 営農飲雑用水事業特別会計の固定資産整理及び管路台帳作成業務委託の内容は。

答 令和6年度の公営企業会計への移行に伴い、台帳整備が必要なため作成した。

【都市整備課】

問 住宅使用料の未納額の徴収方法は。

答 催告書の送付ほか、電話による督促や訪問により徴収している。

問 町有住宅改修戸数とその後の入居率は。

答 令和5年度は、入居率は前年度比10%増加となった。

答 青柳団地33室及び鯉沢団地12室を改修した。入居率は前年度比10%増加となった。



改修が済んだ町有青柳町団地

の空白地帯や交通弱者、高齢者の移動手段と想定しており、利用者の重複はないと考えるが、具体的計数の調査は行っていない。

問 消火栓の設置状況は。

答 設置要望が多く、現状は受け付けていないが、これまでいただいた要望箇所について、予算の範囲内で順次設置している。

【管財課】

問 町有地の売却がなかなか進まないが。

答 町ホームページ、広報誌などを活用するとともに、町内不動産業者の協力を得て町有地売却の推進を図っていく。

問 コミュニティバスとデマンドバスの重複利用の状況は。

答 コミュニティバスは朝夕の通勤通学目的の利用で、デマンドバスは中山間地域

監査委員の決算審査意見

(抜粋)

●決算書・明細書等は、関係法令に準拠して作成されており、決算係数は、関係帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。

●令和3年度の富士川町決算は、一般会計・特別会計の合計で、歳入146億8536万円、歳出138億6264万円となり、形式収支額は8億2272万円となった。また、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は7億1636万円となり、単年度収支額1億7591万円、実質単年度収支額は2億9550万円の黒字となった。

●本町においては、7つの大規模事業の内、2つの事業が完成し、残りの事業が計画・進行中である。人口減少や少子高齢化等の動向を十分に見極め、将来想定されるインフラ資産の更新費用等も十分に考慮した綿密な財政計画が必要と思料する。

代表監査委員 深澤 勲
監査委員 鮫田 洋平

9月定例会 で決まったこと

令和4年度の補正予算、専決処分承認案件、条例改正及び、3年度決算など26案件を審議し、原案のとおり承認、可決、認定した。

- 一般会計補正予算 2億7811万円
- 一般会計補正後の予算総額 105億7141万円

おもな一般会計補正予算

● ホームページ更新業務	910万円
● ふるさと納税報奨金	880万円
● 揚水ポンプ取替工事	226万円
● つくたべかん石垣修繕工事	744万円
● ふじかわスマイル商品券第2弾事業	9340万円
● 県道葦崎南アルプス富士川線舗装修繕工事	206万円
● 最勝寺小林1号線補償費	243万円
● 鯉沢中学校体育館防水工事	131万円



歩道整備が進む最勝寺小林1号線

おもな質疑

報告案件

- 問** ICT教育について、先生方の研修の実績は。
答 業者に委託した操作指導者が、各学校で巡回指導を行いながら、月1回具体的な研修を実施している。

専決処分承認案件

- 問** 生活困窮者緊急生活支援金の給付事業の詳細は。
答 コロナ禍における原油価格・物価高騰の総合緊急対策として、生活困窮世帯に対して1世帯1万5000円を支給する県の事業である。令和4年度の子育て世帯生活支援特別給付金の対象世帯は、支給の対象としない。

条例改正案件

- 問** 育児休業等に関する条例改正での、研修の実施は。
答 正職員と同様に、会計年度職員の研修や資料の提供をするための改正である。相談体制の整備も含め、今後実施していく。

補正予算案件

- 問** ふるさと納税推進業務の業者選定までの経過は。
答 地域未来けん引企業として提案された内容や、グループ企業に農業生産法人があり、生産者や事業者のつながりを活かした、寄り添ったサポートが可能として選定した。

- 問** 映像通信設備支障移転補償費は。

答 県が実施する箱原地内の農道拡幅工事に伴い、一時移設していた電柱および光ケーブルを元の位置に戻す工事で、財源は県補償費である。

- 問** 町のホームページ更新業務委託は。

答 現在のホームページは平成22年に新規作成し、平成25年と27年に一部の改修を行ってきたが、今回は完全リニューアルを計画している。

- 問** 県道葦崎南アルプス富士川線舗装修繕工事は。

答 町道の拡幅が原因で、県道の横断歩道を移設したが、舗装面に段差が生じたため、峡南建設事務所との協議の結果、原因者の町が舗装工事をする事となった。

契約締結案件

- 問** 富士川町新庁舎事務機器契約の落札までの経過は。

答 4者の一般競争入札である。見積もり業者の金額が妥当か、県の営繕課に照会をかけ相談の上で価格設定を決めた。国・県の運用方法を準用し重複禁止条件を採用した。

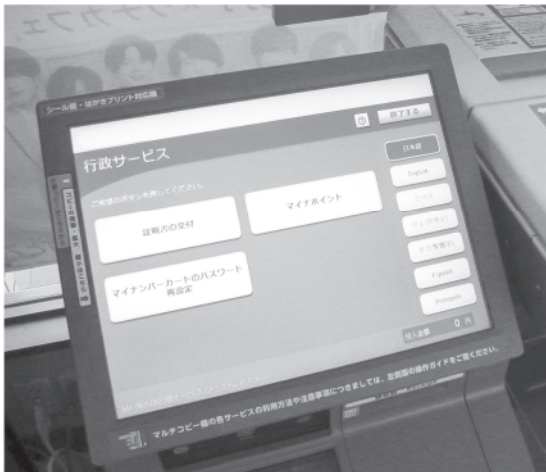
- 問** 富士川町新庁舎建設建築主体工事請負変更契約の締結で、増額分の内訳は。

答 単価スライド分として、鉄などの鋼材の価格上昇1281万円の増額。インフレスライド分として、基準日6月6日以降の物価上昇610万円の増額である。

条例改正3議案、契約締結案5議案を可決した

条例改正

- 富士川町議会議員及び富士川町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正
 - ・ 公職選挙法施行令の一部を改正する政令の施行に伴う選挙運動における公費負担の改正。なお、この条例の施行の日以後に告示された選挙に適用。
- 富士川町職員の育児休業等に関する条例の一部改正
- 富士川町手数料条例の一部改正
 - ・ コンビニエンスストア等に設置された交付機により、個人番号カードおよび住民基本台帳カードを用いて、住民票および印鑑証明書を発行する際に要する手数料に関する規定中の字句の改正。



契約締結

- 富士川町新庁舎事務用機器(1階)契約
 - ・ 入札方法 一般競争入札
 - ・ 契約金額 2057万円
 - ・ 契約の相手 株式会社 三和商会
- 富士川町新庁舎事務用機器(2-3階)契約
 - ・ 入札方法 一般競争入札
 - ・ 契約金額 1400万7070円
 - ・ 契約の相手 株式会社 邦文堂
- 富士川町新庁舎書庫移動棚等備品契約
 - ・ 入札方法 一般競争入札
 - ・ 契約金額 2065万8000円
 - ・ 契約の相手 株式会社 正直堂本部・中央支店
- 富士川町新庁舎建設建築主体工事請負変更契約
 - ・ 契約金額 変更前 13億5457万3000円
変更後 13億7677万2000円
 - ・ 契約の相手 早野組・ゼロ・植野興業
富士川町新庁舎建設工事(建築主体) 共同企業体
- 富士川町新庁舎建設電気設備工事請負変更契約
 - ・ 契約金額 変更前 3億8720万円
変更後 3億9663万8000円
 - ・ 契約の相手 伸電工業・五光電工・大成電気
富士川町新庁舎建設工事(電気設備) 共同企業体

請願審査結果

次の請願が提出され、審査の結果採択し、内閣総理大臣、文部科学大臣など関係機関に意見書を提出することを原案のとおり可決した。

● 加配定数の振り替えによらない小学校35人学級の実施、中学校での35人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書



一般質問ズバリ!聞きます!

一般質問通告一覧

1 宇田川朱恵 議員

- 学校へ行かない・行けない子どもたちへの取組みについて
- 女性に優しい避難所の取組みについて

2 小林和良 議員

- 町内の内水対策について

3 深澤一幸 議員

- 給食費の無償化について
- 公立中学校の部活動の地域移行について
- ひとり暮らしや高齢者等を孤立させない対策について

4 小林有紀子 議員

- より良い生活のためのDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進について
- お悔み手続き窓口一元化について
- AEDの周知、活用について

5 齊藤欽也 議員

- 大法師公園の再開発計画について
- 今後の町立保育所のあり方について

6 望月 眞 議員

- 児童公園等の整備について

7 依田誠司 議員

- ふるさと納税について
- 豪雨対策について

8 神田雅也 議員

- 安全な歩道の整備について
- 野生動物被害対策について
- 新興住宅地の雨水対策について

9 秋山 仁 議員

- デマンドバスについて
- 鳥獣害対策について
- 持続可能な農業振興策について

宇田川朱恵 議員

問 不登校児童生徒への対応について

答 児童生徒が

復帰出来るよう努める



問 学校へ行かない・行けない子どもたちへの取組みについて町の対応は。

教育長 国が示す「不登校」とは、何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因や生活環境により、児童生徒が登校しない、あるいは、したくともできない状況にある者を指し、年度間に連続又は断続して30日以上欠席している児童生徒を定義としている。

本町では、30日以上欠席している児童生徒は、本年7月末時点の調査で、22名いる。

不登校が長期化した場合、学力の低下や、集団生活の不適応等が心配されることから、学校では、不登校となった要因を調べるとともに、保護者と連携をとりながら、児童生徒の状況に

応じたサポートを行っている。

町としては、学校が行う取り組みに対して町単支援助員や学校相談員を配し、きめ細かな支援を行い、不登校の防止に努めるとともに、県や教育事務所の支援を得ながらケース会議を開催するなどして、児童生徒が学校に復帰出来るよう、対応している。



峡南地域教育支援センター やまなみ教室

小林和良 議員

問 青柳・長澤の

排水機場更新計画は

答 更新計画を策定し

国と県に要望中



問 青柳の排水機場は設置後49年経過、長澤の排水機場は47年を経過しているが更新計画は。

土木整備課長 町内の排水機場のうち、県有施設である東川排水機場については、県において平成24年度に策定した長寿命化計画に基づき、令和3年度から各種設備機器などの更新を行っており、今後

も順次、行っていく予定。

次に、町有施設の青柳排水機場については、これまで各種設備機器類などを順次、更新して来たが、供用開始から49年が経過していることから、隣接する国土交通省の新田救急排水

場との統合整備を視野に入れた全面改修案を策定し、国に事業実施を要望している。また、同じく町有施設である長沢排水機場についても、青

柳排水機場と同様に各種設備機器類などの更新を行ってきたが、供用開始から47年が経過していることから、全面改修案を策定し、長沢川の管理者である山梨県に、事業実施を要望している。

なお、新田救急排水機場については、国土交通省において、定期的に保守点検を実施し、設備機器類のオーバーホールを行うなど、適切な維持管理が行われている。



排水機場内部 大型エンジン・減速機・ポンプが並び

深澤一幸 議員

問 中学校部活動の

地域移行について

答 実施にむけた

準備を進めていく



問 スポーツ庁と文化庁の有識者会議はそれぞれ令和7年度末までに、休日の部活動を地域に移行する改革案を提言した。町の移行についての準備は。

教育総務課長 現在、町内の2つの中学校には、14種類の部活動が存在し、増穂中学校では男子ソフトテニス部と卓球部、鵜沢中学校ではバドミントン部が

既に外部指導者による指導を受けながら、部活動を実施している。県では、令和2年9

月に文部科学省が策定した

「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革」に基づき、本年6月、「休日部活動の地域移行に向け、た市町村連絡会議」を立ち上げ、令和5

年度から令和7年度までの3年間で、地域移行を進めることとしている。

今後、町では、先進市町村の事例と近隣市町の動向を確認し、地域移行に向けたガイドラインの作成、アンケート調査などの実施にむけた準備を進めていきたいと考えている。



スムーズな地域移行にむけて

小林有紀子 議員

問 より良い生活のためのDXの推進

答 高齢者等へ積極的なPRに努める



問 マイナンバーカードの取得率アップにむけての、取組みは。

町民生活課長 令和5年3月末までに、マイナンバーカードがほぼ全国民に行き渡ることを目指す国の方針のもと、現在、町ではホームページや広報誌、CATVやSNSなどを活用した情報発信や、庁舎内での申請サポート

トはもとより、企業や事業所、各種団体の集まりや乳幼児健診会場などへ、職員が出向く出張申請サポートを実施している。また、休日や夜間の時間外交付も実施している。今後とも取得促進に向け、取得率が低調な働き盛り世代の取得率の向上のため、企業や事業所への出張申請サポートを継続し、シヨップイングセンター等での申請サポートや、高齢者への積極的なPRに努めていく。



マイナンバーカードの申請が簡単スピーディーに

齊藤欽也 議員

問 今後の町立保育所の在り方について

答 第2保育所を閉所し再編する



問 第2保育所の閉所検討に至る経緯は。子育て支援課長 少子

高まり、保育所全体でも年度途中では待機が発生している状況。3歳未満児は保育士1人に対し児童の定員3人

6人と少ないため、保育士の確保が追い付かない状況にある。令和2年度から保育所のあり方を検討していく中で、集団保育の確保、未満児の待機児童の解消の課題解決をするため、園児が減少している第2保育所を閉所し、町立保育所を再編する検討に至った。

化の進行により、町立保育所の園児数も年々減少しており、すべての園で定員割れの状態となっている。特に、現在園児数が23名と少なく、就学までに経験することが望ましいとする集団保育も難しくなっている。一方、3歳児未満の保育需要が



閉所予定の第2保育所

望月 眞 議員

問 児童公園等の整備の必要性をどう考えるか

答 アンケート調査等の結果を参考にして判断する



問 現在、本町には、子供たちや家族がゆつくり過ごすことができ、児童公園等の施設がないが、施設設備の必要性について町の考えは。

子育て支援課長 町内には、利根川公園をはじめとする地区公園や農村公園などが38箇所あり、多くの公園に子供が遊べる遊具も設置されている。第2次富

士川町総合計画の策定時に実施した町民意識調査での施設満足度では、公園や緑地、遊歩道などの整備の満足度の得点は低い状況であった。一方、施策の重要度では、改善を望む項目として、保健・医療の充実や、バスなどの公共交通機関の充実の得点が高く、公園等の整備については中間の得点であった。こうしたことから、限りある財源の中、町の施策については、町民のニーズを把握し、優先度の高い施策から取り組む必要があるため、児童公園を含む公園の

整備については、今後予定する計画策定時におけるアンケート調査などの結果を参考に、その必要性を判断していきたいと考えている。



子どもたちが楽しく過ごせる公園を

依田 誠司 議員

問 ふるさと納税について

答 寄附金のさらなる増額に力を入れる



問 財政厳しい中、ふるさと納税は幅広く使える大変魅力ある自主財源である。本町の今後さらに増やすための考えは。

町長 ふるさと納税寄附金のさらなる増額のためには、魅力が伝わる返礼品の提供・開発や、より地域の魅力的な返礼品へのブラッシュアップさらには、ふるさと納税をおし

たシティプロモーションなどが必要だと考えている。



ふるさとの魅力が伝わる返礼品開発を

そのため、今定例会にふるさと納税推進業務委託費を上程し、民間の専門業者のノウハウを活用することで、より魅力ある本町のふるさと納税を発信していきたいと考えている。

神田 雅也 議員

問 新興住宅地の雨水対策は

答 計画を見直し

雨水対策を進める



問 近年、多くの農地が宅地となる開発によ

り、雨水の逃げ道がなくなつた。大雨が降ると道路を流れ、道路・土地が浸水するなどの被害も確認されているが、新たな水路をつくるなどの雨水対策は、**土木整備課長** 町では、農地の宅地化等により、

既存の水路による排水が滞るような箇所等につき、平成12年度に策定した公共下水道事業計画の中の雨水対策により、水路の改修等を実施し、浸水被害に対する対策を行ってきた。また、昨年度には、宅地化が進み、浸水被害が見られる天神中條地区等を整備区域に含めた計画の見直しを行い、今後この計画に基づき、適切な雨水対策事業を進めていく。



ゲリラ豪雨であふれ出す雨水

秋山 仁 議員

問 持続可能な農業振興策は

答 県の事業を活用し

生産者の意欲を向上させる



問 農業従事者が減少しているが、生産意欲の向上に取り組めるような施策は。

産業振興課長 本町の農業は、人口減少や高齢化による担い手不足の影響によって、今後

も農業従事者が減少していくものと見込まれる。

本町において、持続可能な農業施策としては、農業の企業参入を

促進し、労働力不足を補うための、ICTやAIを活用することにより、農作業の省力化・労力軽減、化学肥料や農薬などを過剰に使わ

ない有機農業など、環境に配慮した取り組みが必要であると考え。また、県の環境保全型農業直接支払補助事業を活用し、有機農業に取り組んでいる生産者もいる。

このようなことから、今後も引き続き、県の事業を活用して、生産者の意欲向上のため支援を行っていく。



より一層の農業振興策を

特別委員会活動報告

中学校整備等検討特別委員会

本委員会において、各議員から提出された「新たな中学校開校に関する意見」について協議検討を行った。委員長から「新しい中学校開校に係わる諸経費の概要」が示され、新中学校の設立開校を前提に、中学校の教育環境の充実や整備について調査研究し、これまでの議論の経過をふまえた「提言書」をまとめ、9月22日、町長・教育長に提出した。



官製談合防止に係る調査特別委員会

「富士川町官製談合再発防止に係る第三者委員会」の答申に基づき、委員会の方向性について協議した。今後、委員会を複数回開催すること、また議会発議について提出日などの目標を決定し、次回には委員長からの素案を提出する等の、活発な議論を交わした。

組合議会報告

中巨摩地区広域事務組合

9月21日、組合議会が開催され令和3年度決算を認定した。

富士川町負担金は対前年度比299万円の減額となった。要因はごみ処理事業の大幅な減によるものである。

令和3年度決算

会計名	決算額	富士川町負担金
一般会計	5241万円	384万円
ごみ処理事業	13億4046万円	8851万円
地区公園事業	1274万円	80万円
老人福祉事業	3523万円	259万円
勤労青年センター事業	5001万円	367万円
し尿処理事業	2億7075万円	0円
合計	17億6160万円	9941万円

峡南医療センター企業団

8月24日、峡南医療センター企業団議会第2回定例会が開催され、令和3年度峡南医療センター企業団会計決算を原案のとおり認定した。

当年度純利益は5億9646万円と前年比において2億6401万円の増益となった。基本方針の下「地域完結型医療」を目指し、また機器の導入を積極的に行った。

令和3年度も新型コロナウイルス感染症が発生しているが、組織として使命感をもってその対応にあたった。

令和3年度決算

営業利益	41億 90万円
営業費用	46億 228万円
営業損失	△ 5億 138万円
営業外収益	12億9104万円
営業外費用	1億9310万円
経常利益	5億9656万円
当期純利益	5億9646万円

議会活動報告

全員協議会

～リニア中央新幹線工事現場を視察～

8月22日に、リニア中央新幹線第4南巨摩トンネル、保守基地変電所（高下地内）、第3南巨摩トンネルほか工事（最勝寺地内）について、現地視察を行った。視察終了後には、役場会議室において、トンネル発生土の活用と工事用車両の運行計画および安全対策について、JR東海の担当者から説明を受けた。



トンネル工事現場を視察



工事概要と安全対策について説明を受ける

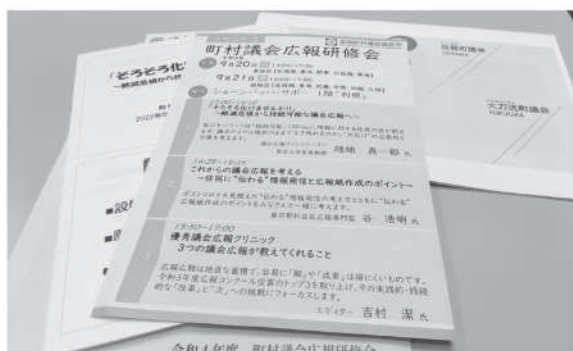


保守基地変電所工事現場（高下地内）

町村議会広報研修会

9月20日、東京都で全国町村議会広報研修会が開催され、広報常任委員会から小林委員長、神田副委員長の2名が参加した。

「議会広報の編集・企画」、「住民に伝わる情報発信と広報誌作成のポイント」などについて研修した。



優秀議会広報の実践から研修



絶えざる創意工夫に取り組みます

おかげさまで

議会だより第50号を迎えることができました。

平成22年7月に創刊した「富士川町議会だより」も本号で50号の節目を迎えることができました。これからも、皆さんに親しまれる議会だよりを発行していきます。

このページでは、議会だよりのこれまでの歩みを振り返ります。

創刊号

(平成22年7月)



- 富士川町議会がスタート
- 富士川町最初の定例会

第10号

(平成24年10月)



- 地域医療問題が一步前進
- 男女共同参画推進条例を審議

第20号

(平成27年4月)



- 地域創生交付金事業を審議
- リニア対策特別委員会報告

第30号

(平成29年10月)



- 住民懇談会の開催報告

第40号

(令和2年4月)



- 新庁舎整備計画を問う
住民投票条例案を審議

県町村議会広報コンクール 受賞歴

- 平成22年度 (創刊号)
広報誌部門…優秀賞
写真部門…奨励賞
- 平成23年度 (第5号)
広報誌部門…優秀賞
写真部門…入選
- 平成24年度 (第9号)
広報誌部門…優秀賞
写真部門…入選
- 平成28年度
広報誌部門…優秀賞



富士川町議会
初代広報常任委員長
市川 淳子 さん

議会だより第50号に寄せて

議会だより50号の発行、おめでとうございます。

12年前の創刊号で、私は編集後記に「読みやすく、分かりやすい広報を目指し、従来型を一新し、新しい編集方法を取り入れる…」と記し、当時の広報委員で知恵を絞って考え出した「議会クイズ」をシリーズ化しました。広報委員の誰もが、もっと町民に議会や町政を知ってほしいという強い気持ちで、編集作業に汗をかき、広報を作り上げたことは懐かしい思い出となっています。

これからも、議会だよりが町の皆さまに親しまれる、読みやすいものとなるよう、期待しています。

わが町の名所めぐり!!

町内のかくれた名所を散策してみませんか?

上北町の共同水場「スイドウ」

100年程前、鰻沢上北町周辺は桑畑や麦畑が広がる農村地帯でした。

戸川の伏流水があちこちより湧き出しており、飲料水や米とぎ、野菜洗い、洗濯などに利用されていました。

大正8年頃、心ある人達が数人集まり賛同者を募り、土を掘り、泥を運び、子供達は背負子で戸川から石垣の石を運び、女衆は賄いに汗を流し、この水場を完成させました。

水質は良く水温は常に14から18度、水源は道路下石積みの暗壁から集水していて枯れることはありません。水場は「スイドウ」と呼ばれ、先人から現在の人達への『宝物』と讃え、昭和2年春に水神様の石碑が祀られ、盆と小正月の年2回水神祭を行っています。幅1.5m長さ10m、緩い傾斜で4層に分かれ飲料水から洗濯に利用されていました。完成時から上町水道組合を設立し現在も定期的な清掃、維持管理運営を行っています。災害時にも役立つため残したい重要な施設です。



一条忠頼の墓

【町指定文化財(史跡)】 昭和56年2月12日指定



眷米区川久保地区は甲府盆地を一望できる高台に位置しています。その高台にひっそりとたたずむこの墓は、一条忠頼の墓石です。一条忠頼氏は、武田家始祖信義の嫡男で武勇に優れており、木曾義仲の討伐に勲功がありましたが、頼朝の妬みにあつて元暦元年(1184)6月に謀殺されたといわれています。一条氏所領の内この地に、窃かに首を埋め、菩提寺を建て、これを明楽寺と称しました。

一説に、一条氏前衛墓地の一つとして川久保城の置かれた所とされています。年月が経ち、墓石の風化も見られますが、その分趣きを増し、しっかりと今もなお甲府盆地を見つめているのだと言わんばかりの風格のある墓石です。

広報常任委員会

委員長 小林有紀子

副委員長 神田雅也

委員 秋山 仁・小林和良・深澤一幸・依田誠司